

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

# の 議会ゆがわら

平成25年5月

No.86

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>  
湯河原町議会のE-mail [gikai@town.yugawara.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.yugawara.kanagawa.jp)

編集/発行 湯河原町議会  
〒259-0392  
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1  
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674



星ヶ山公園  
「さつきの郷」

臨時バス運行期間 平成25年6月1日(出)~16日(回)

3月  
定例会  
2/27~3/15

4月  
臨時会  
4/19

●	平成25年度予算	2
●	代表質問	3
●	一般質問	4
●	委員会だより	6
●	審議と賛否	8
●	議会報告会・一般会議	10

# 3月定例会・4月臨時会

平成25年第1回湯河原町議会3月定例会は、2月27日から3月15日までの17日間（本会議開催5日間）にわたり開催されました。

この定例会では、平成25年度当初予算をはじめ、条例、補正予算、町道路線の認定など議案24件と議員提出議案2件、意見書1件を審議しました。

また、平成25年第2回湯河原町議会4月臨時会は、4月19日に開催されました。この臨時会では、農業委員会委員の推薦を行い、議会推薦の農業委員に次の2名を推薦しました。

高杉誠一さん（門川）  
松野 満議員（吉浜）

## 平成25年度予算が決まりました

平成25年度の各会計予算の審査は、予算審査特別委員会に付託されました。

### 予算審査特別委員会

3月11日開催

一般会計、特別会計及び

公営企業会計予算は、歳入・歳出の内容や事業の目的とその効果等について、質疑応答を行いました。慎重な審査の結果、要望事項を付し、すべての会計の予算は原案のとおり可決することに決定しました。

### 予算審査特別委員会からの要望事項

国民健康保険料の公平性の観点から徴収対策を強化すること。

国民健康保険料の滞納額が多いことから、収納率を上げるよう滞納者へ催告書等により納付勧奨を徹底し、催告等に応じないものに対しては、資格証明書の適用、財産の差押えなどの滞納処分を随時実施し、徴収の強化に努めること。

- (委員長) 小澤 眞司
- (副委員長) 村瀬 公大
- (委員) 室伏寿美夫
- 山本 俊明
- 善本 真人
- 露木 寿雄
- 中島 寛

※中島 寛議員は退場処分となったため、各案件の採決に加わっていません。

## 平成25年度会計別予算額

会計名	平成25年度(A)	平成24年度(B)	比較			
			増減額(A)-(B)	前年度比(A)/(B)%		
一般会計	79億1,700万円	79億1,800万円	△100万円	99.99		
特別会計	国民健康保険事業	37億8,000万円	4億5,100万円	111.93		
	下水道事業	9億2,100万円	8億8,700万円	△3,400万円	96.31	
	介護	保険事業勘定	21億2,300万円	22億1,200万円	8,900万円	104.19
		介護サービス事業勘定	1,350万円	1,260万円	△90万円	93.33
	公共用地先行取得事業	1,530万円	1,500万円	△30万円	98.04	
	後期高齢者医療	3億4,500万円	3億2,700万円	△1,800万円	94.78	
	企業会計	水道事業	10億4,700万円	8億3,200万円	△2億1,500万円	79.47
温泉事業		3億5,600万円	3億6,400万円	800万円	102.25	
合計	165億1,880万円	167億9,760万円	2億7,880万円	101.69		

(備考) 企業会計は、収益的支出と資本的支出の合算額を予算規模として表示しています。

議会では、平成24年度に引き続き、所管事務調査のための視察を実施しないこととし、予算を削減しました。

# 代表質問

## 施政方針に対する 各会派の代表質問

※代表質問とは・・・  
平成25年度施政方針について、各会派を代表して質問をするものです。  
紙面の都合により、代表質問の一部のみを掲載しております。

### 協創会

#### Q 「魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり」について

**村瀬公大議員**  
現在、「箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏」が形成されています。平成22年度から開始されたこの観光圏により、湯河原町ではどのような事業が行われ、ど

の程度の効果があったのか、またこれからの取組についてお示しく下さい。

**A**

観光圏における湯河原町の事業として、圏域内の各地域が一体となつての観光キャラバンに参加し、圏域の観光の魅力や宿泊プランなどの宣伝活動を行う中で、本町への観光客の誘客を図っています。

これからの取組については、平成24年12月に観光圏整備法に基づく基本方針が改正され、平成25年度からは、既存の行政区域にとらわれず、地域間の自主的な取組が求められ、法人格を有する「観光地域づくりプラットフォーム」において、事業の総合的な企画・立案・関係者の調整、実施状況の管理、評価などを行うことが求められています。このような状況の中、本町と静岡県熱海市を観光

### 公明党

#### Q 「ともに支え合い、笑顔で暮らせるまちづくり」の施策について

**佐藤 恵議員**  
① がんによる死亡者は湯河原町において増加傾向にあります。早期発見、早期治療のために受診率を上げることが大事です。受診率を上げるため新たにどのようなことを行なうべきと思いますか。考えをお示しく下さい。  
② 子宮頸がん

圏区域とした新観光圏の、平成25年10月認定を目指し、現在、行政、観光関係、商工関係の代表による会議を開催し、準備を進めているところです。

**A**

① 町が実施している各がん検診の受診率は、平成23年度では6%から23%という結果になっております。検診の対象となる方には、無料券と検診手帳を直接郵送していますが、それでも受診されない方が多いという事は、がん検診の重要性をご理解いただけていないのではと危惧しています。

受診率を上げるため、今までに検診で「早期がん」が何人見つかり、また現在も存命されていることを町広報紙、地方紙に記載し、検診の重要性を身近に感じてもらうことに努めていきたいと考えています。

ています。

② HPV検査は子宮頸がんの原因であるハイリスクHPV感染の有無を調べる検査で、前がん病変の発見率が100%に近いといわれていること、細胞診とHPV検査の結果が共に陰性の場合、次の検診は3年後でよいことなど費用対効果にも優れており、導入の有用性については検討に値すると考えています。

現時点では、国立がん研究センターが示す「子宮頸がん検診ガイドライン」では実施を勧めていないため、厚生労働省による「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に沿って実施していきたいと考えています。当該検診ガイドラインが見直されたときには、HPV検査の導入について医師会の意見を聞き、前向きに検討を進めていきたいと考えています。

同志会

Q 「魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり」について

丸山孝夫議員

漁業の振興活性化について推進するとありますが、活性化について具体的にいくつか示してください。

A 漁業につきましても、荷揚げ場などの各施設も老朽化しており、支障が出てきています。福浦漁業協同組合及び関係機関とともに、漁港施設が一体的に有効に機能するように、新たな利用計画図を作成し、安定した漁獲量の確保による地産地消の推進、観光漁業や海洋レジャーなど、新たな分野の検討などについて、今後も福浦漁業協同組合及び関係機関と連携して対

応していきたいと考えています。

Q 「ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり」について

がんについて集団検診や施設検診で早期発見に努めるとありますが、今回がん対策の大きな減額補正予算が出ています。言っていることとやっていることが違うのではないですか。

A がん対策については想定した受診率が見込みに達せず減額補正を提出したところからです。減額補正のみを捉えるのではなく、過去からの推移と比較していただければと思います。

Q 「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」について

芸術文化の振興についてどう考えていますか。

芸術文化の振興についてどう考えていますか。それから学校生活にスムーズに馴染めるようにとありますが、施設方針には、いじめや体罰に対しての考え方が出ていない。私はいじめや体罰を受けている子供の悲鳴が聞こえる気がします。いじめや体罰対策が必要ですがどう考えますか。

A 芸術文化の振興については毎年図書館や各地区の会館などを会場に「文化祭」を開催しています。文化団体などの情報を収集し町民への発信に努めます。いじめ防止については、児童・生徒の変化を見逃さないよう努め、保護者からの情報提供を受け指導を強化します。

一般質問

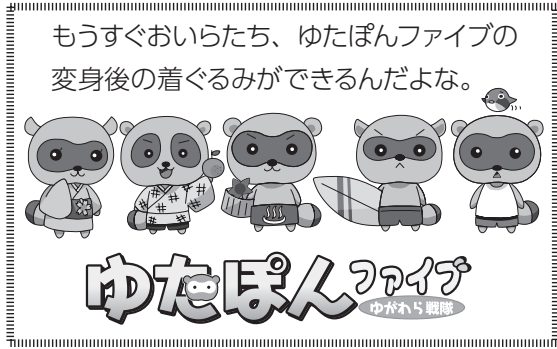
Q 本町の人口施策について

善本真人議員 最近の5年間を見ただけでも、総人口でマイナス748人、生産年齢といわれる21歳から60歳の人口ではマイナス1,319人です。総人口が減り、

※一般質問とは：議員が本会議で、議長等の許可を得て、町政全般（一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など）について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

中でも生産年齢層の減少が著しいことは町の活力の弱体化の要因と思われる。町の活力を取り戻すために、いま現在取り組んでいる定住人口の減少を食い止める施策をお聞かせください。

A 本町は、観光産業を基幹産業とする温泉観光地です。観光産業を町の基幹産業としてさらに発展させ、「湯河原らしい」真の観光立町を実現するため、「湯河原町観光立町推進条例」を施行しました。同条例に基づき策定された「湯河原町観光立町推進計画」では、湯河原観光の基本目標を掲げ、基本目標実現に向けた施策を部門別施策や重点事業として計画しています。これらを着実に実行することにより、就労人口や定住人口の増加に結びつけることができます。ものと考えています。



また、3年ほど前から大きな規模のいわゆる会員制ホテルといったものが事業展開を進めている中で、誘致できるような状況が現実として起きていくということもあります。新たな資本が湯河原町に投資されることは、将来、定住人口促進にも効果が現れてくるものと考えています。

【その他の質問】

- ・本町への財政支援施策について
- ・商店街の空洞化対策について

**A** 助成対象年齢の引き上げは、子育て家庭への財政的な支援となりますが、子育てサロン、一時保育及び疾病予防なども重要な子育て支援策と認識し、新たな子育て支援策として、「ファミリーサポートセンター事業」の実

**Q** 湯河原町の小児医療費助成対象年齢の引き上げについて

**小澤真司議員**  
湯河原町の対象年齢は、県下で最も低い町です。小学生の人口を増やすためにも、対象年齢を小学校卒業まで引き上げて、子育てのしやすい町にすることが必要ではないでしょうか。

施について平成25年度一般会計予算に計上しており、現在の財政状況から考えますと難しいところではあります。

今後、県の小児医療費助成事業実施要綱における助成対象年齢の引上げや、国における小児医療費助成制度の確立などを、神奈川県町村会を通じて引き続き要望していくとともに、平成27年4月、本格施行を目前としている「子ども・子育て支援法」の施行内容に注視しながら、子育て支援全体の見直しを検討していきたいと考えています。

【その他の質問】

- ・湯河原町消防署救急車の出場基準について
- ・湯河原町のGDP（湯河原町町内総生産）について



**Q** 地震予知情報が発令された時、3月11日を受けて湯河原でも事前避難地区指定をもっと拡大すべきことについて

**丸山孝夫議員**  
東日本大災害から何を学び教訓として、どう生かしていくかということから、数時間から数日の間に大きな地震が予想される情報が発令された時の対応について、湯河原町では大災害よりはるか前に予知情報が出た時、福浦地区だけが事前避難地区に指定されている。情報が発令されたら、全員家を空にして避難しなければならぬ。湯河原のような地形では、津波だけでなく崖下も多く、門川地区には海抜4.7mの表示が出ています。崖下地区などの事前避難地区の追加指定が必要です。湯河原防災計画には毎年見直す

という1項目がある。さらに警戒宣言が発令された時、事前避難体制の確立に努めるとある。神奈川県西部地震は最大震度7が想定されている。事前避難地区の追加についてどうですか。

**A** 東日本大震災を教訓に安全を確保するため、海抜表示板、防災マップの改訂、津波避難ビルの追加指定など、今できることに取り組んでいます。津波警報が発令されたら、すぐに避難することの重要性を学びました。事前避難地区を指定することは避難行動が円滑に行われる可能性がありますが、逆に自分達が住んでいる地区が危ないといった恐怖心を煽る可能性も考えられます。むやみに事前避難地区を拡大することなく、防災意識の向上を図ることを考えることも減災につながると考えています。

東日本大震災を教訓に安全を確保するため、海抜表示板、防災マップの改訂、津波避難ビルの追加指定など、今できることに取り組んでいます。津波警報が発令されたら、すぐに避難することの重要性を学びました。事前避難地区を指定することは避難行動が円滑に行われる可能性がありますが、逆に自分達が住んでいる地区が危ないといった恐怖心を煽る可能性も考えられます。むやみに事前避難地区を拡大することなく、防災意識の向上を図ることを考えることも減災につながると考えています。

## 委員会だより

### 総務文教・福祉 常任委員会

(3月4日開催)

○案件

#### ●旧福浦幼稚園跡地利用 計画について

前回の本委員会で、旧福浦幼稚園の跡地に、非常時に避難広場として活用できる多目的広場と第9分団消防団詰所を設置する予定であることに對して、各委員から出した意見・要望の対応について説明を受け、審議しました。

#### ●未熟児訪問指導事業及び未熟児養育医療事業について

平成25年4月1日から、母子保健法に規定されている「未熟児の訪問指導」、「養育医療の給付」事務が県から市町村へ権限移譲されることについて、説明を受けました。

○主な報告事項

#### ●平成23年度財務書類4表について

企業会計的手法（発生主義・複式簿記）を取り入れた地方公共団体の財政状況を表す「貸借対照表（バランスシート）」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の財務書類4表により、平成23年度の湯河原町の財務状況について報告を受けました。

#### ●地域主権改革一括法（第2次）施行に伴う障がい福祉関係事務の権限移譲について

平成25年4月1日から、神奈川県が設置している障害福祉相談員制度が県から市町村へ権限移譲されることについて報告を受けました。

#### ●重度精神障がい者医療給付費について

県西2市8町とも協議をした結果、平成25年4月1日から重度の精神障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、湯河原町重度障がい者医療費助成制度の

対象者に、精神障害者保健福祉手帳1級の方を加えることについて報告を受けました。

#### ●延滞金等の見直しについて（案）

#### ●平成25年度町立保育園入園選考の結果について

#### ●暮らしのガイドブックの進捗状況について

#### ●平成24年中の災害概況について

### 環境・観光産業 常任委員会

(3月1日開催)

○案件

#### ●汚泥焼却施設更新工事について

更新時期を迎えている汚泥焼却施設の機種を選定について、平成24年9月の本委員会での報告のとおり発注実績、環境面、経済性などが優れていることから新技術を採用すること、発電と熱利用について検討した結果、費用対効果が見込まれないことについて報告を受け、審議しました。

#### ●広河原浄水場整備工事及び水道施設整備計画の見直しについて

平成24年度・25年度に実施する広河原浄水場施設整備工事の概要と平成24年12月に執行された入札の経過及び、平成35年度までの町の水道施設整備計画の見直しについて報告を受け、審議しました。

○主な報告事項

#### ●新しい観光圏制度について

観光圏整備法に基づく基本方針が見直され、広範囲で効果的に機能していなかった点を見直し、既存の行政区域にとらわれず、地域間の自主的な取組が求められることとなったことから、現在の「箱根・湯河原・熱海・あしがら観光圏」を見直し、「熱海市及び湯河原町を区域とした新観光圏」の平成25年10月認定を目指すことについて報告を受けました。

#### ●湯河原駅周辺地区土地

#### 利用規制見直しについて

湯河原駅周辺地区の土地利用規制見直し案の概要と、平成25年1月17日と20日に開催された「湯河原駅周辺地区の土地利用規制見直し」についての説明会」での質疑応答の内容について報告を受けました。

### 広域行政 特別委員会

(3月1日開催)

湯河原町と熱海市で設置している尿の共同処理検討委員会に、真鶴町が正式に参画することについて報告を受け、平成30年度の稼働に向けた施設建設スケジュールについて審議しました。

### 町税等徴収対策 強化特別委員会

(2月21日開催)

平成24年度12月末町税等収納状況、滞納繰越分滞納者について報告を受け、差押処分などの今後の具体的な徴収対策の強化方法等について審議しました。

懲罰特別委員会

※懲罰とは・・・

地方自治法並びに会議規則及び委員会条例に違反した議員に対し、議決により懲罰を科することができます。（地方自治法第134条第1項）

なお、懲罰の種類は、

- ①「公開の議場における戒告」、②「公開の議場における陳謝」、③「一定期間の出席停止」、④「除名」の4種類が規定されています。（地方自治法第135条第1項）

3月11日

予算審査特別委員会

平成25年度予算を審議するため設置された予算審査特別委員会において、中島寛議員が本会議での副町長の発言を誤った内容で取り上げたとして、委員会の審議を空転させたため、委員長が退場処分を命じまし

た。

このことを受け、3名の議員（村瀬公大議員、山本俊明議員、善本真人議員）から中島寛議員に対する懲罰動議が提出されました。

※動議とは・・・

議会の意思決定を求めて、予定された議案以外の議題を議員が提起することです。

3月12日

本会議・懲罰特別委員会

懲罰動議が提出されたため本会議を開催し、「中島寛議員に対する懲罰について」の議題は、懲罰特別委員会を設置し、付託のうえ審査することを議決しました。

懲罰特別委員会で審査した結果、中島寛議員に対して、「公開の議場における陳謝」の懲罰を科すことに委員会として決定しました。

委員会での審査内容

地方自治法第132条「品位の保持」、議会基本条例第4条「議員の責務」及び議会議規則第98条「品位の尊重」の規定に違反するとの理由から「懲罰を科すべきもの」と認めること、懲罰の種類は「公開の議場における議会の決めた陳謝文の朗読」を適用することを決定しました。

議会の決めた陳謝文

陳謝文

私は、平成25年3月11日開催の予算審査特別委員会における、「平成25年度湯河原町一般会計予算案」の審議に関する議事中、私の発言により委員会を混乱させたことは、議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に顧みて、まことに申し訳ありません。ここに、深く反省し、誠意を披歴して陳謝します。平成25年3月15日 湯河原町議会議員 中島寛

3月15日

3月議会定例会（最終日）本会議・懲罰特別委員会

本会議において、懲罰特別委員会の審査報告（「公開の議場における陳謝」の懲罰を科すこと）を採決した結果、賛成多数で可決されたため、中島寛議員に「公開の議場における陳謝」の懲罰を科したところ、中島寛議員が陳謝を拒否し、不規則発言をしました。

このことを受け、3名の議員（村瀬公大議員、山本俊明議員、善本真人議員）から中島寛議員に対する懲罰動議が提出されたため、「中島寛議員に対する懲罰について」は、懲罰特別委員会を設置し、付託のうえ審査することを議決しました。

委員会での審査内容

3月15日開催の本会議において、議決された陳謝文の朗読を拒否したため、地方自治法第135条第1項第3号「一定期間の出席停止」を適用し、「出席停止1日」とすることを決定しました。

本会議において、懲罰特別委員会の審査報告（「出席停止1日」の懲罰を科すこと）を採決した結果、賛成多数で可決されたため、中島寛議員に「出席停止1日」の懲罰を科し、本会議を退場となりました。

なお、懲罰を審査するに当たっては、議員の身分に関わる重大な案件であることから、弁明を許可することとなっておりますが、審査をする前に中島寛議員に確認したところ、中島寛議員から弁明の申出はありませんでした。

## 審議した議案と各議員の賛否

(平成25年3月定例会)

○は賛成、×は反対を表しています。  
 ※停止:「出席停止1日」の懲罰を科されたため、採決に加わるできません。

議案番号	議案名	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	善本真人	佐藤恵	丸山孝夫	露木寿雄	室伏重孝	中島寛	原田洋	小澤真司	土屋誠一	松野満	審議結果
1	湯河原町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	湯河原町特定滞納者に対する特別措置に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	湯河原町災害派遣手当の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	湯河原町道路占用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	平成24年度湯河原町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	平成24年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	平成24年度湯河原町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	平成24年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	平成24年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	平成24年度湯河原町温泉事業会計資本剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	平成25年度湯河原町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
14	平成25年度湯河原町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	停止	○	×	○	○	可決
15	平成25年度湯河原町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
16	平成25年度湯河原町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
17	平成25年度湯河原町公共用地先取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
18	平成25年度湯河原町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
19	平成25年度湯河原町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	停止	○	○	○	○	可決
20	平成25年度湯河原町温泉事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
21	小田原市箱根町真鶴町湯河原町障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
22	町道路線の認定について（鍛冶屋92号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
23	町道路線の認定について（門川16号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決
24	湯河原町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	同意
議員提出第1号	湯河原町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出第2号	湯河原町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書第1号	2020年オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会東京招致に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	停止	○	○	○	○	可決

## 審議した議案と各議員の賛否(懲罰に関する採決)

○は賛成、×は反対を表しています。  
 ※除斥:本人に関する議案のため、採決に加わるできません。

議案番号	議案名	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	善本真人	佐藤恵	丸山孝夫	露木寿雄	室伏重孝	中島寛	原田洋	小澤真司	土屋誠一	松野満	審議結果
-	中島 寛議員に対する懲罰について（陳謝）	×	○	○	○	○	×	○	○	除斥	○	○	○	○	可決
-	中島 寛議員に対する懲罰について（出席停止1日）	○	○	○	○	○	×	○	○	除斥	○	○	○	○	可決



## 主な条例の改正

●湯河原町新型インフル  
エンザ等対策本部条例  
(制定)

新型インフルエンザ等対  
策特別措置法の規定に基づ  
き、湯河原町新型インフル  
エンザ等対策本部の設置に  
関し必要な事項を定めるた  
め、条例を制定しました。

●湯河原町特定滞納者に  
対する特別措置に関する  
条例(一部改正)

特定滞納者に講ずること  
ができる特別措置について  
より明確な規定とするため、  
条例の一部を改正しました。

●湯河原町道路占用料徴  
収条例(一部改正)

道路法施行令及び道路整  
備特別措置法施行令の一部  
を改正する政令が公布され  
たことに伴う引用条項の整  
理及び占用の種類を整理す  
るため、条例の一部を改正  
しました。

## 人事案件

◆湯河原町教育委員会委  
員の任命について

木田美津代さんの任期が  
平成25年3月31日で満了と  
なるため、新たに小松泰子  
さんを教育委員に任命する  
ことに同意しました。

## 意見書

◆2020年オリンピック  
ピック競技大会及びパリ  
ピック競技大会東京招  
致に関する意見書

2020年オリンピック  
ク競技大会及びパリリン  
ピック競技大会東京招致  
は、未来を担う子どもた  
ちに新たな夢と感動を与  
え、青少年の健やかな成  
長を促すとともに、国際  
交流の促進や経済効果が  
期待されます。

そして、なにより、東日  
本大震災からの復興をな  
し遂げた日本の姿を全世  
界の人々に示し、世界中か  
ら寄せられた支援に対す

る感謝の気持ちを表す好  
機となり、また、当町と  
しても、国際観光地に向け  
て、来訪する多くの外国  
人観光客へ「おもてなしの  
心」を伝える意義の深いも  
のであると思います。

よって、湯河原町議  
会、2020年に開催さ  
れる第32回オリンピック  
競技大会及び第16回パ  
リピック競技大会の東  
京招致をここに強く要望  
します。

なお、意見書は内閣総  
理大臣、文部科学大臣、  
厚生労働大臣、衆議院議  
長、参議院議長、観光庁  
長官に提出しました。

## 議員提出議案

地方自治法が改正され  
たことに伴い、これまで  
法律で定められていた事  
項を規定するため、条例  
と規則を改正しました。

●湯河原町議会委員会条  
例(一部改正)

●湯河原町議会議規則  
(一部改正)

## 補正予算が決まりました

【平成 25 年 3 月定例会】

会計名・補正額	概要	
一般会計(第5号) (6,380万6,000円の増額)	議会運営経費の減額 県営土地改良広域農道(小田原湯河原地区)整備事業費の増額 こごめの湯改修事業費の減額 道路新設改良事業費の増額 避難施設設置事業費の減額 など	
国民健康保険事業特別会計(第4号) (2億6,525万6,000円の増額)	一般被保険者療養給付費の増額 後期高齢者支援金の増額 など	
下水道事業特別会計(第2号) (3,619万円の減額)	浄水センター維持管理事業費の減額 公共下水道管渠整備事業費の減額 など	
介護保険 事業 特別会計 (第3号)	《保険事業勘定》 (7,822万7,000円の増額)	介護サービス等給付費の増額 介護予防サービス等給付費の減額
	《介護サービス事業勘定》 (増減なし)	介護予防支援事業費の減額 介護予防支援事業費減額に伴う予備費の増額
後期高齢者医療特別会計(第2号) (684万5,000円の減額)	後期高齢者医療広域連合納付金の減額	

※議会運営経費の減額

議会では、平成24年度に予定していた所管事務調査のための視察を中止し、予算を減額しました。(1,401千円の減額)

# 議会報告会を開催します

テーマ：「平成25年度予算の審議内容」  
「町内施設整備計画(案)等について」

第1回議会報告会

日時 平成25年6月21日(金)  
午後7時から  
会場 宮上会館

第2回議会報告会

日時 平成25年6月22日(土)  
午後7時から  
会場 中央区民会館

議会報告会  
とは…

湯河原町議会基本条例の規定に基づき、湯河原町議会が主催して開催するものです。  
①議会の活動状況(主な議案の審議の経過)  
②新年度予算の主な事業  
③町政の重要課題  
などの特定のテーマについて、私たち町議会議員が直接、町民の皆さんに説明し、意見交換を行うものです。  
私たち議会は、これらの活動を通じて、町民の皆さんの声をお聴きし、町政に反映させていくことを目的としています。



平成24年7月7日 宮下会館で開催した議会報告会

議会報告会の様子は次回の議会だより(9月発行予定)でお知らせいたします。

## 一般会議とは…

議会報告会のほかにも一般会議を行っています。

一般会議とは、私たち町議会議員と町内で活動している各種団体の皆さんなどが、町政に関すること、議会活動への意見・要望及び提言などについて、幅広く、自由に意見交換を行う場です。

議長に開催のお申し込みがあった場合、議長の諮問機関であります「議会運営委員会」において、開催する必要があるかどうかを協議し、開催を決定させていただきます。  
なお、お申し込みに当たっては、日程の調整や会場の都合などがありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

## 傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。  
(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

## 6月議会日程

- 6月6日(木)午前 本会議(一般質問等)
  - 7日(金)午前 本会議(条例・補正予算等)
  - 10日(月)午後 広域行政特別委員会
  - 11日(火)午前 環境・観光産業常任委員会
  - 13日(木)午前 総務文教・福祉常任委員会
  - 17日(月)午前 本会議(委員長報告等)
- 【午前は10時、午後は1時の予定です。】

## 編集後記

地方議会の議員年金制度は昭和36年に創設されました。平成に入り市町村の合併や行政改革が進んだことにより、議員定数が削減され、2度にわたり年金支給額の引き下げが行われましたが、平成23年6月1日に廃止されました。

議員年金制度は廃止されましたが、少子高齢化が進む中、公的年金制度を維持することは、大きな課題だと思っております。  
(原田 洋 記)

## 議会だより編集委員会

- 委員長 村瀬 公大
- 副委員長 山本 俊明
- 委員 善本 真人 中島 寛
- 原田 洋 高橋 延幸